虻田高校生が遊覧船で観光ガイドを実施（遊覧船ガイドプロジェクト）
～高校生らしい視点で洞爺湖の魅力を紹介～

10 月 1 日、虻田高校生 3 年生 14 人が「遊覧船を活用した高校生による観光ガイド」のため、修学旅行で訪れた埼玉県立秩父高校生 92 人を出迎え、地元洞爺湖周辺のすばらしさをガイドしました。

虻田高校生 3 年生 14 名は、春から洞爺湖や地域の観光、現役のバスガイドによる「バスガイド講座」などの座学を通じて基礎知識を学びながら地元中学生への模擬ガイドで本番に向けた準備を進めてきました。虻田高校生自らが手作りしたパネルを活用しながら、洞爺湖の特徴や周辺の地形を説明したり、北海道の方言や地名、北海道限定のおみやげをクイズ形式で紹介するなど各班が工夫を凝らした思い思いのガイドで地域の魅力を披露しました。

ガイドを受けた秩父高校生は、「写真などを使っていて分かりやすかった」と話していました。

10 月 23 日、虻田高校生 3 年生 15 人が、一般のお客さま、幸清会 20 人に本年度２回目のガイドを実施しました。

遊覧船「エスポアール」に乗船し５班に分かれてのおもてなしです。本番の緊張やお客様からの想定外の質問にも耐えながら、用意したフリップを使い、一生懸命に説明をしていた姿が印象的でした。お客様からは「孫のようで応援したくなり、すごく楽しかった」「後輩に引き継ぎ継続して下さい」など暖かい言葉も頂くことができ、高校生にとってはすてきな経験になったことと思われます。

このプロジェクトの実施にあたり多大なるご協力をいただいた洞爺湖汽船株式会社様、ワカサリゾート株式会社様、道南バス株式会社様、洞爺湖温泉観光協会様、洞爺湖町様、この場を借りてお礼を申し上げます。

本当にありがとうございました。

遊覧船ガイドプロジェクトとは

北海道運輸局室蘭運輸支局と北海道虻田高等学校の「地域ビジネスの授業」が連携し、平成 27 年度から実施しているもので、今年度で 5 年目となります。

これまで、H27 年度 1 回、H28 年度 2 回、H29 年度 1 回、H30 年度 1 回の観光ガイドを実践しています。

プロジェクトでは、近年の修学旅行が　教育プログラムを取り入れた、交流型の旅行となっていることに着目し、「地元高校生による遊覧船ガイド」を育成して、高校生の目線によるメニューを組み立てて、修学旅行のニーズへ応えるとともに、全国的にも珍しい試みとして注目を浴びることによって、有力な観光資源として遊覧船観光の新たな需要を生み出し、洞爺湖温泉地域の活性化を目指すべく、実施しております。